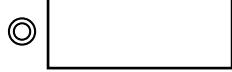




太陽系と宇宙の広がり



◎ 太陽と、太陽を中心として運動している天体の集まり。太陽と8つの□と以下からなる。

□	：火星と木星と木星の間にある小さな天体。	□	となり地球に落ちてくることもあります。
□	：□と細かいちりでできた天体。軌道が細長い橢円形のものが多い。		
□			：海王星の外側の、太陽系の天体。

惑星の種類	□	□	□	□	□	□	□
大きさ	□	い	□	い	□	い	□
特徴	主に岩石からなる→密度が	□	い	主に気体からなる→密度が	□	い	□
天体の例	□	星、□	星、地球、□	星	□	星、□	星、□

□：惑星のまわりを公転している天体。例：□など

◎ 地球

生命が存在できる条件がそろっている。

液体の水：地球には平均気温が約□℃に保たれているため。
□：重力によって保持されている。



◎ 宇宙の広がり

星座をつくる星々は、自ら光輝く□である。光の速さで1年かかって進む距離を□といふ。

う。

星の明るさは1□、2□…という等級で表す。数字が小さいほど□。

恒星の集まりを□といい、ガスのかたまりとともになったものを□といいう。

太陽系や星座をつくる星々をふくむ、数千億個以上の恒星の集団を□といい、これより外の恒星の大集団を□といいう。